

**学校名** 上尾市立上尾小学校  
**所在地** 上尾市仲町1丁目11番46号  
**電話** 048-771-0067

## 1 本校の概要

開校以来 146 年目を迎える歴史と伝統のある学校である。昨年度は国語科の研究発表を行い、言語活動を単元計画に位置付けた国語科の授業づくりに取り組んできた。また、読書における活動の一環として、ビブリオバトルに関する取組を平成 27 年度から継続して行っている。

※ビブリオバトルとは、相手に「読んでもらいたい」と思う本を持ち寄って紹介し合う書評合戦である。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・言語活動の充実によって学力向上を目指す  
～国語科とビブリオバトルの実践を通して～

### (2) 実践の概要

児童が言葉や本に触れる機会を様々な場面で設定し、児童の言葉の力の獲得と学力向上を目指す実践である。手立てとして、国語科の授業に関連する取組と、ビブリオバトルに関する取組の二つで実践の視点に迫れるようにした。

#### ア 国語科の授業に関連する取組

各学年の廊下に移動式の並行読書棚を設置し、文学作品を学習する際に児童が活用できるようにした。それによってどの学級の児童も本を手取る機会を確保することができるとともに、並行読書を取り入れた学習によって教材文や作者についての理解を深めることができた。各単元で並行読書に必要な図書は図書室にそろえている。昨年度、国語科の研究発表を行ったこともあり、並行読書を取り入れた学習が各学年の年間指導計画にも位置付けられている。また、高学年では国語科とビブリオバトルを関連付けて授業を行った。



#### イ ビブリオバトルに関する実践

図書委員会の活動の一つとして、全校ビブリオバトルを各学期に一度ずつ開催している。今年度は、出場希望者の更なる増加と聞き手も楽しめるようにするために、持ち寄る本のテーマ（種類）を設定した。第1

回は、「夏がすずしくなるこわい本」、第2回は「食に関する本」とした。第3回もテーマを決めて行う予定である。

大会は業間休みに体育館で行った。体育館には 200 人以上の児童が集まり、書評を聞いて自分が読みたいと思った本を選び



投票した。投票を集計して1位から3位までのチャンプ本を選び、賞状を作成して、校長室で表彰を行った。

また、教職員の働き方改革の一つの取組として、教職員自らが読書への関心を高めることと、教職員同士の親交を深めることを目的とした、教職員ビブリオバトルを行った。管理職を含めた7人が出場し、自分のおすすめの本を紹介し合った。出場者以外の教員が聞き手となり、読みたいと思った本に投票をし、1位に選ばれた出場者を表彰した。紹介された本は職員室に掲示した。大変和やかな雰囲気の中で行うことができた。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 読書の機会を授業の中に設定したことと、授業内容の充実により国語科の学力向上を図ることができた。

イ テーマを設定してビブリオバトルを行ったことにより、参加希望の児童が増えるとともに、大会を楽しみにして聞きに来る児童が多く見られた。

ウ ビブリオバトルに関する取組を継続して行ってきたことと、教職員相互でビブリオバトルを行ったことにより、教職員のビブリオバトルに対する認知が広まるとともに関心が高まった。

### (2) 課題

国語科の並行読書を取り入れた言語活動の充実と、校内でのビブリオバトルの成功のためには、教職員による協力が不可欠である。全教職員一丸となって実践の視点に迫れるよう取り組んでいきたい。